

新潟県沿岸・沖合における海生哺乳類の漂着・混獲・目撃記録 (2009年1月～2010年5月)

本間 義治¹⁾ 岩尾 一²⁾ 箕輪 一博³⁾ 中村 幸弘⁴⁾ 青柳 彰⁵⁾ 岩下 雅彦⁶⁾ 大原 淳一⁷⁾

Stranding, entangling and sighting records of marine mammals in coastal and offshore regions of Niigata Prefecture during the years, January 2009 - May 2010

Yoshiharu Honma¹⁾, Hajime Iwao²⁾, Kazuhiro Minowa³⁾, Yukihiro Nakamura⁴⁾, Akira Aoyagi⁵⁾, Masahiko Iwashita⁶⁾ and Jun-ichi Ohara⁷⁾

要 旨

従前に発表したデータ以降の、2009年1～12月における佐渡汽船新潟～両津航路と、2009年5月～2010年5月の間に、佐渡汽船直江津～小木航路および新潟県沿岸・沖合における海生哺乳類の漂着・混獲・目撃等の記録を取りまとめた。漂着は5件（ハナゴンドウ2件、カマイルカ2件、オウギハクジラ属の一種1件）であった。漂着例が極端に少数なのは、前年度にも考察したように、大時化が少なかったことに起因していると思われる。混獲されたミンククジラ2個体は、いずれも佐渡島の大型定置網に入ったもので、これも例数が少なかった。2009年中における新潟～両津航路の佐渡汽船乗組員による鯨類目撃記録は、141件と極めて多かったが、これについては別報した（本間・岩下 2010）。一方、直江津～小木航路船に乗船した大原はイシイルカの群れを目撃した。ほかにも第9管区海上保安本部がツチクジラの群れを撮影した。また、遊漁船が柏崎沖でカマイルカの群れを目撃している。漂着したオウギハクジラ属の一種については、肉眼的病理解剖を行った。

Abstract

Following a previous paper (Honma et al. 2010), stranding, entangling, and sighting records of marine mammals along the beach and offshore regions of Niigata Prefecture, the Sea of Japan, were compiled from January 2009 to May 2010, in order to make comparison among the instances of previous years investigated 1994-2008. As a result, 5 stranding, 2 Minke whale entangling, and 154 sighting instances, consisting of 141 on the Niigata—Ryotsu route, 5 on the Naoetsu—Ogi route, and 8 in the offshore coast of Kashiwazaki by whale watching boats, were noted. The striking numbers (141) indicated the largest than for of previous years, and were reported elsewhere (Honma and Iwashita 2010). A small number of stranding records seems to be dependent on a few rough storms occurred in winter. Many individuals of Dall's porpoises were observed on the car ferry operating on the Naoetsu—Ogi route. A stranding beaked whale was inspected macroscopically from the pathological point of view.

- 1) 新潟大学 〒951-8018 新潟市中央区稲荷町 3460-55
Niigata University School of Medicine, 3460-55, Inarimachi, Chuou-ku, Niigata 951-8018, Japan.
- 2) 新潟市水族館 〒951-8101 新潟市中央区西船見町 5932-445
Niigata City Aquarium, 5932-445, Nishifunamicho, Chuoh-ku, Niigata 951-8101, Japan.
- 3) 柏崎市立博物館 〒945-0841 柏崎市緑町 8-35
Kashiwazaki City Museum, 8-35, Midorichou, Kashiwazaki 945-0841, Japan.
- 4) 上越市立水族博物館 〒942-0004 上越市西本町 4-9-27
Joetsu City Aquarium, 4-9-27, Nishihoncho, Joetsu 942-0004, Japan.
- 5) 長岡市立寺泊水族博物館 〒940-2500 長岡市寺泊花立 9353-158
Nagaoka Municipal Teradomari Aquarium, 9353-158, Teradomari-hanadate, Nagaoka 940-2500, Japan.
- 6) 佐渡汽船シップメンテナンス株式会社 〒950-0078 新潟市中央区万代島 9-1
SadoKisen Ship Maintenance Co.Ltd, Bandajijima 9-1, Chuoh-ku, Niigata 950-0078, Japan.
- 7) 新潟県野鳥愛護会 〒949-3103 上越市大潟区潟町 738-3
Niigata Prefecture Wild Birds Conservation Group, 738-3, Katamachi, Ohgata-ku, Johetsu, 949-3103, Japan.

はじめに

前報(本間ら 2010)でも記したように、著者らは1994年以來、佐渡海峡に就航する佐渡汽船の乗組員による鯨類目撃記録を取り纏め、2010年5月までの資料を欠かさず報告してきた(本間 1995, 本間・古川原 2001～2009, その他)。一方、新潟県(新潟～佐渡)沿岸へ漂着した海生哺乳類についても、丹念に記録を集め、さらに江戸時代の古文書も渉猟して集成した(本間ら 2011)。本報では、引き続き2009年1月から2010年5月までの資料を整理してみた。ただし、佐渡汽船の新潟～両津航路で得られた目撃記録は141回と多く、記録を取り始めた1994年以來最高の数値となったので、単独に解析して別報とした(本間・岩下 2010)。

方法については、従来通りなので(本間 1955, 本間・古川原, 2001～2009)、前報(本間・岩下 2010)同様に省略する。

結果と考察

まず佐渡航路船から目撃された海生哺乳類は、2009年1月～12月の間にわたる新潟～両津航路の乗組員による分は、141回と突出して多くて、目視(障害物監視)記録を取り始めた1994年から最高で、次位の2007年の54回の2倍以上であった。そこで上述のように、別個に整理し過去の資料と比較検討した結果は、別報することにした(本間・岩下 2010)。次に、直江津～小木航路で著者らの一人、大原が目撃した鯨類は、イシイルカ3回13頭、種不明イルカ1回1頭、であった。また、第9管区海上保安本部所属のヘリコプターによりツチクジラの群れ(1回)が撮影された。また、柏崎市所属の遊漁船等によりカマイルカの群れ8回と一般漁船からの通報が13回であった(表1, 2)。最近の傾向として、イシイルカが目撃が目立つようになってきたが、あるいは突きん棒などによる漁獲圧の低下によるものなのか、相関関係を検討する必要がある。なお、別報(本間・岩下 2010)でも記したように、2009年1月22日には、新潟～両津航路のカーフェリー(おけさ)の乗組員により、シャチの群れが目撃されたことは、注目に値する。

上述した小型漁船と遊漁船による柏崎市笠島海岸沖10km地点における鯨類(カマイルカ群泳のみ)観察記録は、8回に過ぎなかったが、なかでも目算300頭という多数例も1910年4月10日に記録された(表2)。

漂着は2009年5月から2010年5月までの間に、鯨類が5個体、鰭脚類は0個体と、極めて少なく、従来

より少数と記録された前報(本間ら 2010)の12個体よりさらに少なかった(表3)。内訳はカマイルカ2頭、ハナゴンドウ2頭、オウギハクジラの種類が1頭である。少なかった理由として、今回の資料の蒐集期間内に、海生哺乳類の生死にかかわるほどの大きな時化の発生があまりなかったことによるものと推測される。

大型定置網等への混獲数も少なく、ミンククジラの2頭のみであった(表3)。

2010年3月6日に、新潟市西区四つ郷屋浜へ漂着した全長4.7mのオウギハクジラの種類(雌)については、新潟市水族館で著者らの一人岩尾によって、肉眼による病理解剖を施行した。栄養状態は良好であったが、胃中には30cmに満たないロープ1本と、イカの顎板や耳石数十個などが認められた。肺の水気腫の状態や、心臓・肝臓の血管の異常などについては、さらに精査のうえ別報したい。

なお、2008年4月30日に直江津～小木航路船のこがね丸船上から著者らの1人大原が直江津沖15kmで目撃し、撮影した種不明の4頭は、その後ザトウクジラと判明したので、写真を添え補訂しておく(本間ら 2010)(図1)。また、2009年7月6日に、第9管区海上保安本部所属のヘリコプターが、直江津港沖46km地点で撮影した34頭のツチクジラの群泳の写真は、許可を得たので掲載した(図2)。

表1 佐渡汽船（直江津～小木航路）による鯨類目撃記録

年月日	往復路	種類	出現頭数
2009.04.06	往路	イシイルカ	1
2009.04.06	復路	イシイルカ	2
2009.04.06	復路	イルカ（種不明）	1
2010.03.30	復路	イシイルカ	9

表2 柏崎市の遊漁船等による鯨類目撃記録

年月日	時刻	種類	頭数	情報漁船
2010.04.08	11:00	カマイルカ	5	伸盛丸
2010.04.09	11:00	カマイルカ？	5	義海丸
2010.04.10	11:00	カマイルカ	ca.300	隆光丸
2010.04.25	11:00	カマイルカ	ca.50	勇丸, 金進丸, 金星丸
2010.05.02	9:00	カマイルカ	ca.100	盛漁丸, 海盛丸
2010.05.02	11:00	カマイルカ	ca.100	隆光丸, かしわ丸, 海盛丸, 金進丸, 金星丸
2010.05.02	13:00	カマイルカ	ca.100	隆光丸, 勇丸, 盛漁丸, 金進丸, 金星丸
2010.05.03	9:00	カマイルカ	ca.100	隆光丸, 勇丸, 盛漁丸, 海盛丸, 金星丸

表3 新潟県沿岸における2009年5月～2010年5月の間に漂着・混獲した海生哺乳類の記録

年月日	種類	住所	状況	体長(m)	体(kg)	性	状態
2009.05.05	カマイルカ	新潟市西区上新栄町浜	漂着・死体	2.2	不明	♀	白化, 腐敗, 埋設
2009.05.24	カマイルカ	上越市長浜	漂着・死体	ca.2.0	120	♂	白化, 尾鰭欠損, 歯牙脱落
2009.12.24	ハナゴンドウ	村上市今川宝屋	漂着・死体	ca.2.4	ca.300	不明	尾鰭欠損
2009.12.25	ハナゴンドウ	新潟市西区五十嵐浜	漂着・死体	2.9	不明	不明	腐敗
2010.03.06	オウギハクジラの種類	新潟市西区四つ郷屋	漂着・死体	4.7	8～900?	♀	新潟市水族館で病理解剖
2009.05.01	ミンククジラ	佐渡島和木大型定置	生存→死	6.4	不明	♀	市販（鯨研情報）
2009.07.31	ミンククジラ	佐渡島黒姫大型定置	生存→死	4.85	不明	♂	市販（鯨研情報）



図1 2008年4月30日に直江津～小木航路の佐渡汽船カーフェリー“こがね丸”船上より直江津港沖15km地点で撮影されたザトウクジラ



図2 2009年7月6日に第9管区海上保安本部所属のヘリコプターにより直江津港沖46km地点で撮影されたツチクジラ34頭の群泳

引用文献

- 本間義治(2005) 佐渡海峡の佐渡航路(佐渡汽船)における鯨類目撃記録. 新潟県生物教育研究会誌, (30): 39-43.
- 本間義治・古川原芳明(2001) 佐渡海峡における佐渡航路船(佐渡汽船)による鯨類目撃記録の解析(1994年4月～1999年10月). 日本海セトロジー研究, (11): 7-13.
- 本間義治・古川原芳明(2002) 2000年度における佐渡海峡の佐渡航路船(佐渡汽船)による鯨類目撃記録. 日本海セトロジー研究, (12): 1-4.
- 本間義治・古川原芳明(2003) 2001年度における佐渡海峡の佐渡航路船(佐渡汽船)による鯨類目撃記録. 日本海セトロジー研究, (13): 7-12.
- 本間義治・古川原芳明(2004) 2002年度における佐渡海峡の佐渡航路船(佐渡汽船)による鯨類目撃記録. 日本海セトロジー研究, (14): 13-16.
- 本間義治・古川原芳明(2004) 2003年度における佐渡海峡の佐渡航路船(佐渡汽船)による鯨類目撃記録. 日本海セトロジー研究, (14): 17-21.
- 本間義治・古川原芳明(2005) 2004年度における佐渡海峡の佐渡航路船(佐渡汽船)による鯨類目撃記録. 日本セトロジー研究, (15): 1-4.
- 本間義治・古川原芳明(2007) 2005年度における佐渡海峡の佐渡航路船(佐渡汽船)による鯨類目撃記録. 日本セトロジー研究, (17): 1-4.
- 本間義治・古川原芳明(2008) 2006年度における佐渡海峡の新潟～両津航路船(佐渡汽船)による鯨類目撃記録. 日本セトロジー研究, (18): 9-12.
- 本間義治・古川原芳明(2009) 2007年度における佐渡海峡の新潟～両津航路船(佐渡汽船)による鯨類目撃記録. 日本セトロジー研究, (19): 9-12.
- 本間義治・岩下雅彦(2010) 2009年中における佐渡海峡の新潟～両津航路船(佐渡汽船)による鯨類目撃記録. 日本セトロジー研究, (20): 17-19.
- 本間義治・箕輪一博・中村幸弘・青柳 彰(2011) 新潟・佐渡沿岸と沖合における海生哺乳類の漂着・混獲・目撃記録再調. ホシザキグリーン財団研究報告, (14): 43-58.
- 本間義治・箕輪一博・中村幸弘・岩尾 一・青柳 彰・古川原芳明・岩下雅彦・大原淳一(2010) 新潟県沿岸・沖合における海生哺乳類の漂着・混獲・目撃記録. 日本セトロジー研究, (20): 1-6.